

事務事業名	コード1	0085	広報活動費	課	秘書広報課			
	コード2		広報あさひ発行業務	所属班	広報広聴班			
				☑ 主要事業	電話番号	62-8070	内線 230	
政策体系	基本方針	6	共につくる夢のあるまちづくり	予算科目	会計	款	項	目
	施策	1	市民参画・協働の促進		一般会計	02	01	03
	施策の展開	3	広報活動の充実	根拠法令	旭市広報発行規則			
	基本事業	344	広報あさひの発行					

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 ※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 平成 年度～ <input checked="" type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで ※全体像を記述→	毎月2回(1日、15日)「広報あさひ」を発行し、市政に関するお知らせやイベント情報、まちの話題などを市民に提供する事務事業。年間6回程度公民館だよりを折り込む。 配布方法は、①主要6紙+地方新聞、②郵送(希望者、関係期間)、③受付・各支所・公民館・図書館などに掲出、④HPにてPDFファイルとして格納し公開。 広報誌の編集方針としては、お知らせに加え多様な企画ものを掲載している(トピックス、キラリあさひ人、イキイキあさひっ子、健康メモなど)。レイアウトに関して業者に委託。最終校正はこちらで行う。 【業務の流れ】 各課の市政に関するお知らせなどの情報と、まちの話題やイベントなどの取材情報をもとに編集し、広報紙を作成する。 ①取材、②企画:企画→各課からの情報・記事を受付→編集→業者に出す→校正。 毎月1日と15日に発行し、全戸へ配布(新聞折込みのほか、必要に応じての対応を行っている)する。

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(費目等)
■印刷製本費(印刷業者):9,286,326円 ■手数料(新聞折込代理店):4,879,263円
② 延べ業務時間の内訳
■取材:①取材企画、ネタ探し ②取材依頼→取材→記事まとめ ■編集:①企画 ②各課からの情報・記事を受付 ③編集 ④校正 ■配布:①希望者への配布 ②公共機関等への配布

		単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	26年度(計画)
事業費	財源内訳	千円						
	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他一般財源	千円	15,287	14,754	14,408	15,701		
事業費計(A)	千円	15,287	14,754	14,408	15,701	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	2.68	2.68	2.68	2.57		
延べ業務時間	時間	5,392	5,392	5,392	5,184			
人件費計(B)	千円	20,490	20,490	20,490	19,699	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	35,777	35,244	34,898	35,400	0	0	

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	⑤ 活動指標名	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	26年度(計画)
	23年度実績(23年度に行った主な活動) ・毎月1日と15日に「広報あさひ」を発行し、全戸へ配布した。 ・取材、企画・編集 ・郵送 24年度計画(24年度に計画している主な活動) ・毎月1日と15日に「広報あさひ」を発行し、全戸へ配布する。また、「広報あさひに対する市民アンケート」を実施し、市民の意見を聴取する。	ア 「広報あさひ」発行部数 イ 「広報あさひ」新聞折込み部数 ウ 「広報あさひ」発行回数	部	22,800	22,800	22,800	22,800		
			部	20,910	20,920	20,570	20,750		
目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	⑥ 対象指標名	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	26年度(計画)
	①市民 ②公共機関(近隣市等) ③在勤者・事業所 ④出身者	ア 世帯数 イ 公共機関数・事業所数	世帯	24,793	24,901	24,926	25,000		
			機関	50	50	50	50		
上位目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標名(考え方)	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	26年度(計画)
	・情報を得る・理解する ・「広報あさひ」が市民生活の重要な情報源として活用される。 ・それぞれの目的を満たす	ア 広報誌を読んでいると答えた割合 () イ 市民アンケートによる「広報あさひ」の活用度(ためになったと答えた読者の割合)	%				80		
			%				80		
上位目的	④ さらに、どんな上位目的に結び付けるのか	⑧ 上位成果指標名(考え方)	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	26年度(計画)
	・市民がイベント・行事に参加する ・市民と市役所が情報を共有できる	ア 市民アンケートによる「広報あさひ」の満足度(広報紙をみてイベント・行事に参加した割合)	%				80		
		イ ()							

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か?どんな経緯で始まったか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか?開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか?	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
・市(町)政に関する情報を市(町)民に提供するため。	・ホームページでの掲載もあり、郵送サービス対象者が減少した。(約1,000人から約250人に減少) ・SNSなどITの進化により、新聞を取らない人が増加している。 ・合併前、旧旭市は月2回発行、旧3町は月1回発行。合併後は月2回発行。	・読者から「カラー誌面のほうが見やすい。誌面が暗い」などの声があった。

事務事業名	広報活動費 広報あさひ発行業務	課名	秘書広報課	班名	広報広聴班
-------	--------------------	----	-------	----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ この事務事業の目的は市の政策体系に結びつか？意図することが上位目的に結びついているか？ ・市政に関する情報を市民に分かりやすく速やかに提供することで、市政に対する理解を得るとともに、市民と協働のまちづくりが進められている。
	② 対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ ・市内全戸への配布。(新聞折込みのほか、必要に応じての対応を行っている) ・「公共機関」の中でも、自治体などへは広報紙を配布する必要性を検討する。
	③ 行政関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？ ・「広報あさひ」の発行は、市政に関する情報を市民に提供することが目的の一つであるため。 ・流山市などNPOに委託をしているところもあるので、今後、当該市の情報収集を検討する。
	④ 成果の現状水準	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？ ・広報研修などの参加で担当職員のスキルアップを図る。 ・市民アンケートなどで意見を聞き、今後のより充実した広報づくりに反映させる。
	⑤ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】↷ 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？ ・担当職員のスキルアップにより事業の効率化を図り、更なる充実した広報紙づくりを行う。
有効性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↳ (1) 事務事業名：() (2) <input type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 連携ができる ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 既に統廃合・連携している ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ ・議会だよりとの連携は可能(折り込み委託等)
	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど) ・支所での廃棄件数分、発行部数を削減。(県内外各市への郵送をやめるなど) ・「広報あさひ」の紙面・内容の見直しを図る。
効率性 評価	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？ ・担当職員のスキルアップで、広報原稿作成の迅速性、正確性を図る。(育成ができれば可能)
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ ・市内全戸への配布。(新聞折込みのほか、必要に応じての対応を行っている)

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・月2回の発行と内容については、概ね目的達成しているが、「広報紙に対して市民はどう思っているのか？」「読んでもらいたいところが本当に読まれているか？」など、市民ニーズを正確に捉えるアンケート調査を行い、より充実したより読みやすい広報紙にしていきたい。 ・広報紙の廃棄件数を精査して、自治体などへの広報紙を配布する必要性を検討する。	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可) ※2~3年後を目処にした方向性	(3) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上	○																						
	維持																							
	低下																							
<input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による事業費削減 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(関連事業：) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化																							
(2) 改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？																								
①平成24年度中に「広報あさひ」のアンケートを実施し、今後の充実した広報紙づくりに反映させる。 ②廃棄部数確認し、発行部数を減らす(近隣自治体への郵送廃止の検討など) ③広報原稿作成にあたり、事務の迅速性、正確性を図り、延べ業務時間を削減する。																								
(4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																								
①充実した広報紙づくりと事務の効率化との両立。 ②他課との調整。 ③ ④																								